

【NEWS RELEASE】

2026年4月30日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行Sakana AI 株式会社との実装フェーズ第一号案件となる
「提案書自動生成アプリケーション」の導入開始について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、「SMBCグループ」）は、Sakana AI 株式会社（代表取締役：デイビッド・ハ、以下、「Sakana AI」）と2025年5月に締結したパートナーシップ契約の実装フェーズ第一号案件として、生成 AI を活用した「提案書自動生成アプリケーション」（以下、「本アプリケーション」）を開発し、株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）での導入を開始します。



1. 背景・狙い

近年、事業環境の変化やデジタルトランスフォーメーションの加速により、お客さまの経営課題は複雑化しております。こうしたなか、金融機関にはお客さまの状況を深く理解し、これまで以上に迅速かつ高度な専門性をもった情報提供や提案を行うことが求められています。

本アプリケーションは、Sakana AI の技術を実務プロセスに組み込み、銀行独自の専門的な資料作成業務を高度化する取組です。これまで行員の経験やスキルに依存していた高度な戦略立案・リサーチ業務を AI が直接支援することで、属人的な業務構造から脱却し、あらゆるお客さまへ迅速かつ高品質な価値提供を実現してまいります。

2. 特徴

本アプリケーションは一般的な生成 AI 活用にとどまらず、戦略的な提案において、情報収集から仮説構築、ストーリー策定までの一連の実務プロセスに AI を深く組み込みます。主な機能は以下の通りです。

- **専門的な提案コンテンツの自動生成**

AI が対象企業の財務・非財務情報を分析し、提案の目的や論点に応じたドラフトを作成するだけでなく、新たな視点や客観的な論点を提示します。これにより、情報収集や資料作成などの負担が軽減され、行員は本来注力すべき「多角的な分析」「本質的な課題解決策の策定」に集中できるようになり、お客さまの期待を超える質の高い提案を実現します。

- **複数 AI エージェントの連携**

情報収集・分析、仮説構築・ストーリー策定、品質評価・ファクトチェックなど、役割の異なる複数の AI エージェントが相互に連携しながら段階的に提案内容を具体化します。

3. 今後の展望

本アプリケーション利用開始を第一歩として、今後は継続的な機能改善や、積極的な利用を通じた事例蓄積による AI 運用の高度化を進めてまいります。特に、4月24日にニュースリリースした、「営業推進 AI アプリケーション」(※)と本アプリケーションが密接に機能補完しあうことで、より質の高い価値提供を可能とし、事業への貢献効果の最大化を図ります。

(※) [ホールセールビジネスの高度化に向けた「営業推進 AI アプリケーション」の導入開始について](#)

また、Sakana AI とは SMBC グループ内の他の業務領域においても、AI エージェント技術の活用を順次検討し、実務プロセスに最先端技術を組込むことで、業界に先駆けた AI 活用の姿を追求していきます。こうした取組を通じて、お客さまと共に発展し、持続的な成長に貢献してまいります。

SMBC グループは、お客さま起点での先進的なデジタル実装を通じて、「世界をつなぐ日本発のトラステッド・パートナー」としての役割を追求し、「本邦 No.1 法人ビジネスの確立」を目指してまいります。

【ご参考】

Sakana AI 株式会社は、東京を拠点とする AI 研究開発企業です。複数の AI モデルを統合・最適化する「Evolutionary Model Merge」や、AI が自律的に科学的発見を行う世界初の包括的システム「The AI Scientist」など、革新的な技術を次々と発表しています。

また、技術の社会実装にも注力しており、日本のニーズに応じた AI ソリューションの開発や AI の民主化を目指して、金融・防衛をはじめとする各業界の大企業や公共部門と連携しています。

以 上